



大阪東ブロック 大東支部  
(株)山田製作所 山田 雅之

### 戦国の天下人、三好長慶の飯盛城

わが町『大東市』は、他府県、いや大阪府内からも、お隣の東大阪に間違えられたり、50歳代の人には『アァ~水害の』と印象が浅い地域です。以前市民アンケートでも「何もない」というイメージが上位にありました。

ここ数年前から、大東市を盛り上げる活動が盛んになり、市の資産を掘り起こす活動が起こっており、その中から大東市は昔『首都』だったことが浮かび上がってきました。大東市の東には、飯盛山があります。市内の小中学校の校歌にも数多くその名が出てくるほど市民には馴染み深い「飯盛山」です。飯盛山の山頂には、大阪府下最大級の山城「飯盛城」がありました。今でもその遺跡があります。永禄3年（1560）に戦国大名の三好長慶が飯盛城に入城しました。長慶は「天下人」であり、この時の飯盛城は日本の首都でありました。



飯盛城石垣



飯盛山から大阪を望む

戦国時代の「天下」とは、朝廷の所在地の京都とその周辺を指し、その秩序の安定を維持し、コントロールできる人物が「天下人」なのです。長慶は対立していた、足利義輝を京都から近江に追いやり、その後和睦して将軍は京都に戻るも、長慶は自らの支配力を強めていきます。朝廷では「弘治」から「永禄」への年号の改元に際し、将軍にははからず、長慶と調整しました。このことから長慶は「天下人」と言えます。

その後、飯盛城へと入った長慶は河内国を完全に手に入れ勢力を伸ばしていきます。オランダで1718年から20年に発行された「歴史地図帳」では、日本の統治者を説明しており、そこには内裏（天皇家）、公方（足利将軍家）に続き、「三好殿」とあり、「信長」「羽柴太閤」「秀頼」「家康」などと続いています、西洋人の目では「三好長慶」は紛れもない「天下人」でした。その長慶が居城した飯盛城には、戦国の「首都」が存在していたのです。

### 野崎まいりやだんじり祭りも

他にもたくさんの歴史的遺産が大東市にはあります。5世紀ごろに作られた堂山古墳や、清少納言の枕草子に出てくる「勿入淵」跡の石碑。江戸時代新田開発の管理・運営のために作られた平野屋新田会所跡地など、史跡の宝庫です。また、全国的にも有名な「野崎まいり」。開催される5月には10万人以上の方が参拝にきます。「野崎まいりは屋形船で参る～」と「野崎小唄」で歌われるように、期間内は水路での行程ができる「野崎まいりクルージング」が行われています。

魅力だらけの大東市。西側には、東大阪にも負けない工場出荷額を誇る工場街があり、住道駅は、日々の乗降客が全国JR駅中でも上位にはいるとも言われています。8月にはDAITO Rockcity（開会式では市長もRockを歌います。またこれが上手い）9月の大東市民まつりをはじめ、秋には市内のあちらこちらでだんじり祭りが開催されその数34台とか。12月には大東スマイルイルミネーションと、毎月のように各地でイベントが開催されています。



大東市が特集された大阪春秋

※三好長慶史実は新風書房発行の大阪春秋平成27年秋号を参考にさせていただきました。